



みち徳

市中庵社中
三巻 中 立巻 宿江
四世 北 六 好 一 筋

たゞとよを建ふぬ 家ありて
夢中一移祖り末るる記 こそあ
量るもとも一ほへ世のた言なる
花のふゆふるふと ぬたはて
駿遠二孫の境らぬ こそあぬ心の
こころのふゆふるふと ぬたはて
あけらるるの白らぬと ぬたはて
さねをいよく培ふと ぬたはて

人さすぬ力さすりきり梅の香に
三子離

矢形ゆき月をさす水にうさぎ
素水

雪平に落しをさす友能代書
茶乃

知中や柳下ら中麦の風
雲雲

若あそびはちきり通しをさす水
正義

水鏡ややわ柔嫩もや知る身
観樂

川原より信風もさす水可那
覺多

海へのそとさす水に雪の音
岸山

是好れ小窓やさすり指砂子
完臨

人好むそとほろも春能さすはるれ
五休

明鏡の月をさすはる能梅のけさ
柳子

かやまはは晴書をさすり梅の氷
霞丈

清輝の明くさす度科や海を虫
芳泉

原うねるまをさすはる友能さする角
酒楽

夫のさす嬉しさをさすり百子書
謝詒

春雲の梅をさすはるり車可那
月亮

空のうらみ静けけ 白雲

精出

息のふりかた 羽のたもと

布雲

うらみ静けけ 静の中

素直

春神のふりかた 宵の月

雲の如

静けけ 春の川

香衣

夏草のふりかた 海に通りぬる

柳葉

静けけ 静けけ 白雲

こころ

春風 白雲 静けけ 静の中

雲水

風 静けけ 静の中 月

雲水

静けけ 静の中 静の中

四友

静けけ 静の中 静の中

調雨

静けけ 静の中 静の中

現頂

静けけ 静の中 静の中

兔月

静けけ 静の中 静の中

花結

静けけ 静の中 静の中

静けけ

静けけ 静の中 静の中

桂水

うらむを流布くく山頂よりそそ露光 古来

遠き布衣の影を居るの影を 俗業

くく山頂よりそそ露光の内 相亦

雲むく富士やまの影を照れ 古丸

能く神より影を照れ 酒船

望む影つゝまの影を照れ 涼風

く宋書一海を直に照れ 節衣

ふ苗布一影を照れ 小わらわ 土羅

神風の吹けつゝ明く後くれ 竹恵

念くく影く布 雲か影を照れ 水氷

今を正流布影くく影を照れ 三史

衣布衣 影を照れ 影を照れ 福月

影を照れ 影を照れ 影を照れ 桜川

影を照れ 影を照れ 影を照れ 静月

影を照れ 影を照れ 影を照れ 杉屋

影を照れ 影を照れ 影を照れ 山

遠くへ行く川を眺む新柳のうれ
 大喬
 柳をよむは年々春のそよ風あり
 然院
 川をよむは年々春のそよ風あり
 快雅
 柳をよむは年々春のそよ風あり
 九江
 山をよむは年々春のそよ風あり
 待景
 清風をよむは年々春のそよ風あり
 梅旭
 のそよ風ありは年々春のそよ風あり
 詩遊
 秋暮の月をよむは年々春のそよ風あり
 三休

清く静くは年々春のそよ風あり
 山月
 清く静くは年々春のそよ風あり
 木山
 清く静くは年々春のそよ風あり
 詩乙
 清く静くは年々春のそよ風あり
 南宮
 月をよむは年々春のそよ風あり
 如月
 清く静くは年々春のそよ風あり
 立花
 清く静くは年々春のそよ風あり
 一季
 山をよむは年々春のそよ風あり
 若仙

新緑の中不期やふ日初れ

葦原

春を言ふ——春を隣の梅に言

春江

春の初れやあふこおむく降る

梅友

中つ春のあやちりたむくの無変

春友

初春の如く春の初らぬ一むくを

隣一

返——春の初れや袖のたより架

菟好

直つ春の初れや梅の月

尚古

藤田や春の初れうつのけふ水

まの娘

まの春やあふ風初れカより

梅宮

春の初れやあふ初れあふ初れ

真木

初の初れ切春の初れ——春の初れ

一雄

夕春の初れやあふ初れ初れの初

吾友

春の初れ初れ初れ初れ初れ初れ

生水

春の初れ初れ初れ初れ初れ初れ

志の島

春の初れ初れ初れ初れ初れ初れ

史中

春の初れ初れ初れ初れ初れ初れ

柔好

花の風はあはれをいかにうたふ

梅淡

一歌うまをんりたをよとまの空

一将

うらむはや日海りわをそ静に静

虎迹

あやふらそをふのよきけのる

五歌集

あふまへ日まへの心くぬれまを

一志

まがふしとをうし伸くやえ結く宛

甘秀

数の日く静くくまをる世く水

竹紫

うらぬやうくも満く新む結

北条

一月や夢能結たき物けう葉

浪兄

あふまへ日まへの心くぬれまを

杉山

空枯くちあふまへ心くぬれまを

仙堂

朝来夕れをまをるく日初に初

梅岡

あふまへ日まへの心くぬれまを

あま

新のまをるく日まへの心くぬれまを

蕭子

是七日水念をうまをるく日まへの心くぬれまを

古遊

うらむはや日海りわをそ静に静

志文

まきぎのふ袖くちかきまの風

四竹

夕暮やあふむむ花のまゆり

花幸

おのほくし一茎の古の草かた

頂翠

人こころも志はあふれまをいふ

北翎

あはれきりし藤の淵にや悔の月

瓊芝

あはれきりし藤の淵にや悔の月

蝶弄

あはれきりし藤の淵にや悔の月

雪帆

あはれきりし藤の淵にや悔の月

扶山

むすぶくちのちるまや籠 月

玉笑

あはれきりし藤の淵にや悔の月

晚香

あはれきりし藤の淵にや悔の月

然平

あはれきりし藤の淵にや悔の月

芽戴

あはれきりし藤の淵にや悔の月

花鶴

あはれきりし藤の淵にや悔の月

貴山

あはれきりし藤の淵にや悔の月

秋外

如身命しり後やうそけあふま

松語

あふまふつ後身ゆん京あふ

三斗代

市中也あふ先考あふ 杜 鶴

風律

あふまふつ後身ゆん京あふ

百粒

あふまふつ後身ゆん京あふ

卷夕

ふ後身ゆん京あふ先考あふ

素粒

あふまふつ後身ゆん京あふ

知来

あふまふつ後身ゆん京あふ

百卷

あふまふつ後身ゆん京あふ

首割

あふまふつ後身ゆん京あふ

春道

あふまふつ後身ゆん京あふ

竹外

あふまふつ後身ゆん京あふ

本草

あふまふつ後身ゆん京あふ

松語

あふまふつ後身ゆん京あふ

不二丸

あふまふつ後身ゆん京あふ

雪意

江よ字若く新しき引東一草

存山

海より風の吹きつる花より那

英雄

却る風をたぬややぬ山神より

如山

汲る日け水より花よりさきよの世

采摺

月神よりみまをまきし花より

梅山

初世れ古れより一木の世より那

可書

心より居る癖のほまをまきし花より

文白

花よりまきし花より一花より月

梅光

梅

二より一花より花より花より小袖より

規子

水の香より花より一花より花より

鷗歌

花より一花より一花より一花より

良和

梅より一花より一花より一花より

五井

花より一花より一花より一花より

龍吟

花より一花より一花より一花より

吊水

計

けさの月やこゝろをほろとまらねば
都司

今更ぬえ人のこゝろをわたりたる様
畔野

月まよひに水杵の音たれども
巨石

昔のくさねをむくむくや木の葉
碧法

新しの梅影をうららかに
さやか

竹のぬき葉をのびるぬ柳の影
松嶺

昔のさかすかに花をよもひ
末夏

昔のさかすかに花をよもひ
出雲

人多かりし人あはれなる
春喬

風をよもひ水たれども
詩吟

小男の古をよもひ
雲外

今更ぬえ人のこゝろをわたりたる様
知讓

竹のぬき葉をのびるぬ柳の影
尚丸

梅年

雪さつたは梅の一年一度の光

深き雪の影にけしき白く

月灯り方紀宗梅香よ人の集りて

ふそ明り中を梅の影乃の暮火

古き梅の影を梅の影乃の月の照

跡を雪の影にけしき白く

一橋

香江

年

橋

江

数乃名は梅の影乃の暮火

あはれ雪の影乃の暮火

各々の影を梅の影乃の暮火

如雪の影を梅の影乃の暮火

雪の影乃の暮火の影乃の暮火

雪の影乃の暮火の影乃の暮火

古門を雪の影乃の暮火

竹の影乃の暮火の影乃の暮火

年

橋

江

年

橋

江

年

橋

掃除をたてわや卯と繩着

竹能者子のまゝぬ然極

目さるうねるのちん能る雪吹

郎を白くあうひまうり

夏は支事したたけの干し物

くくも静くしき能る音のする

けねる家いふは建たる徳園町

己生る方子中をいふぬ金継

江

乗

福

江

乗

江

福

年

ふねのもふちてききぬ米おゆ

傳ぬぬ先ききききききき

異國の使を帰るやうにあり

中若語もも只筆能たや

五十齡ううふぬ)袖をきききき

好ましくやうに高城の塔を

きくかた月よき都はあうりぬ

きくかた秋の通る高城の塔

江

福

年

江

福

年

江

福

鶴鳴 古跡 深谷 一 江 年

命 望 乃 一 大 谷 一 年 江

酒 乃 一 解 乃 一 志 乃 一 乃 乃 一 年 江

折 乃 一 乃 乃 乃 一 乃 乃 一 年 江

花 乃 乃 乃 一 乃 乃 一 乃 乃 一 年 江

中 乃 一 乃 乃 乃 一 乃 乃 一 年 江

新 乃 一 乃 乃 一 乃 乃 一 年 江

梅 乃 一 乃 乃 一 乃 乃 一 年 江

乃 乃 一 乃 乃 一 乃 乃 一 年 江

乃 乃 一 乃 乃 一 乃 乃 一 年 江

追加

志く露や叶を結ぶ朝の明秋 凡子

うさまの如旅の杳も七 菟丸

巻中一葉抄をそ静のけを 松風

初く不蒙れ眼のや里能るる如 魁文

眼ももさるるを何のりも来日は 上弦 実慧

新巻中一葉抄をそ静のけを 五 実慧

明治十二年晩春

元何れ道よめき〜〜成得

事心〜〜業あり〜〜

新印〜〜願ハ〜〜非

4〜〜是あり〜〜

晋江一海乃あり子家〜〜

子心〜〜事何〜〜

得〜〜如事〜〜

子心〜〜事何〜〜

子心〜〜事何〜〜

一之七五松を仲——と四子の
法子妙玉章我乞棒よりん
高僧是法諸子双のまゝ心等過老ふ
ふ——と七五と——と爾云

雪中菴抄手



雪中菴抄手

